



平成28年12月17日
やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバル

宇部総合支援学校の 地域貢献に向けた取組

～ コミュニティ・スクールの導入に向けて ～

山口県立宇部総合支援学校

宇部市の概況

人 口：169,360 人（平成27年末）
世帯数：78,933 世帯（ " ）
面 積：286.65 km²
位 置：山口県の南西部
学校数：公立・私立
 小学校24校
 中学校15校
 高等学校 8校
 特別支援学校 1校



宇部総合支援学校について

- 昭和39年 山口県立養護学校として設立
- 昭和43年 山口県立宇部養護学校へ改称
- 平成20年 山口県立宇部総合支援学校へ改称
特別支援教育センターを設置

宇部総合支援学校について

福祉型障害児入所施設 このみ園



山口県立宇部総合支援学校

在籍児童生徒数 315人
設置学科 普通科、産業科
児童生徒の出身地 11市1町

宇部総合支援学校について



独立行政法人国立病院機構
山口宇部医療センター



医療センター内学級

美祢分教室



宇部総合支援学校について

本校と地域とのつながり

- **「生産まつり」**
製品の展示・販売
- **ボランティア活動**
特別養護老人ホームでの清掃活動 等
- **センター的機能**
特別支援教育に関する必要な助言・援助 等

特別支援教育への理解促進のための取組

コミュニティ・スクールの導入



学校・家庭・地域が一体となり教育を充実

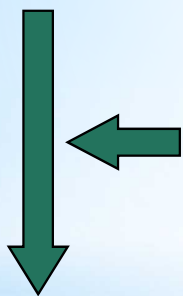
地域への障害についての理解を促進

社会総がかりによる特別支援教育の充実

特別支援教育への理解促進のための取組

特別支援教育フォーラム

毎年、県東部・県西部・県中部で開催



* 各学校の学校運営協議会委員の参加

* 保護者の思いを語る場の設定

* パネルディスカッションを実施

- ・ 学校運営協議会委員の理解促進
- ・ 総合支援学校と小・中学校のCSとしての連携強化

コミュニティ・スクール導入の課題

◆総合支援学校の通学は広範囲にわたる



CSの取組を展開する
地域をどのようにとらえるか



- ・ これまでも『交流及び共同学習』を実施
- ・ 学校運営協議会同士の連携が可能

総合支援学校が所在する
近隣の小・中学校区

コミュニティ・スクール導入の課題

地域の実情の把握

地域の方の
総合支援学校に
ついての意識

学校と地域の
ニーズのマッチング

コミュニティ・スクール導入の課題

地域の方の総合支援学校についての意識について

アンケート調査の実施

- 問1. 宇部総合支援学校を訪問されたことがありますか。
- 問2. どのような「もの」「こと」があれば、訪問したいですか。
- 問3. 宇部総合支援学校の地域貢献について御存じですか。
- 問4. 宇部総合支援学校に地域貢献として、期待するものはどのようなことですか。

コミュニティ・スクール導入の課題

アンケート結果

問1. 宇部総合支援学校を訪問されたことがありますか。

「ある」… 小学校 20% 中学校 15%

問2. どのような「もの」「こと」があれば、訪問したいですか。

	小学校	中学校
障害についての勉強会	30%	26%
学校ボランティア	22%	25%
製品の展示・販売	44%	46%
その他	4%	3%

コミュニティ・スクール導入の課題

アンケート結果

問3. 宇部総合支援学校の地域貢献について御存じですか。

「知っている」… 小学校 31% 中学校 30%

問4. 宇部総合支援学校に地域貢献として、期待するものは
どんなことですか。

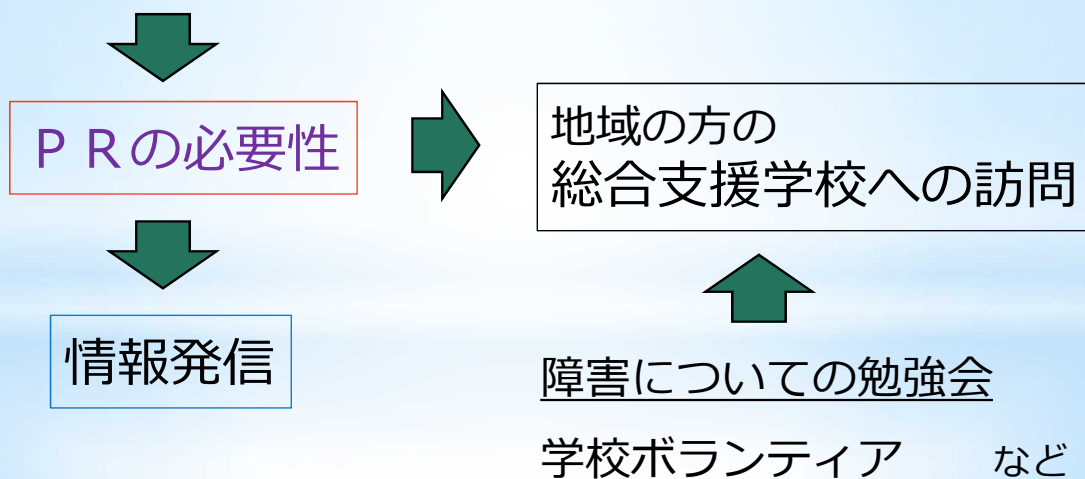
- ・地域の祭りや伝統行事への参加や手伝い
 - ・ものづくりなどの講座の開設
- など

コミュニティ・スクール導入の課題

地域の方の総合支援学校についての意識について

アンケート結果から

まだまだ総合支援学校のことを知られていない



コミュニティ・スクール導入の課題

学校と地域のニーズのマッチング

いかに **WIN-WIN** の関係を築くか



地域のニーズの掘り起こし



地域のキーパーソン
からの情報収集



地域の資源の把握

学校運営協議会の委員

学校運営協議会設置検討協議会の開催 2月、6月

委員の候補の検討



< 15名の委員候補を県教育委員会に推薦 >

大学教授（学識経験者）
企業・福祉施設の代表者
福祉行政の担当者
地域の自治会長 8名

P T A 役員
校 長
職業教育担当者等
7名

コミュニティ・スクールに関する研修

総合支援学校の管理職や教職員を対象とした研修会
(県教育委員会)

「山口CSコンダクター」による校内研修(本校)

先進校視察

横浜市立若葉台特別支援学校
京都市立白河総合支援学校 など

これまでの地域貢献

これまでの地域貢献としての本校の取組

- ◆ 高等部産業科の生徒による、地域の介護老人保健施設での清掃活動
- ◆ 近隣の中学校PTA活動に係る資料づくりでのお手伝い

第1回学校運営協議会の開催

学校運営協議会設置の承認（9月）

第1回学校運営協議会の開催（9月26日）

<協議内容>

「学校運営」

「学校支援」

「地域貢献」

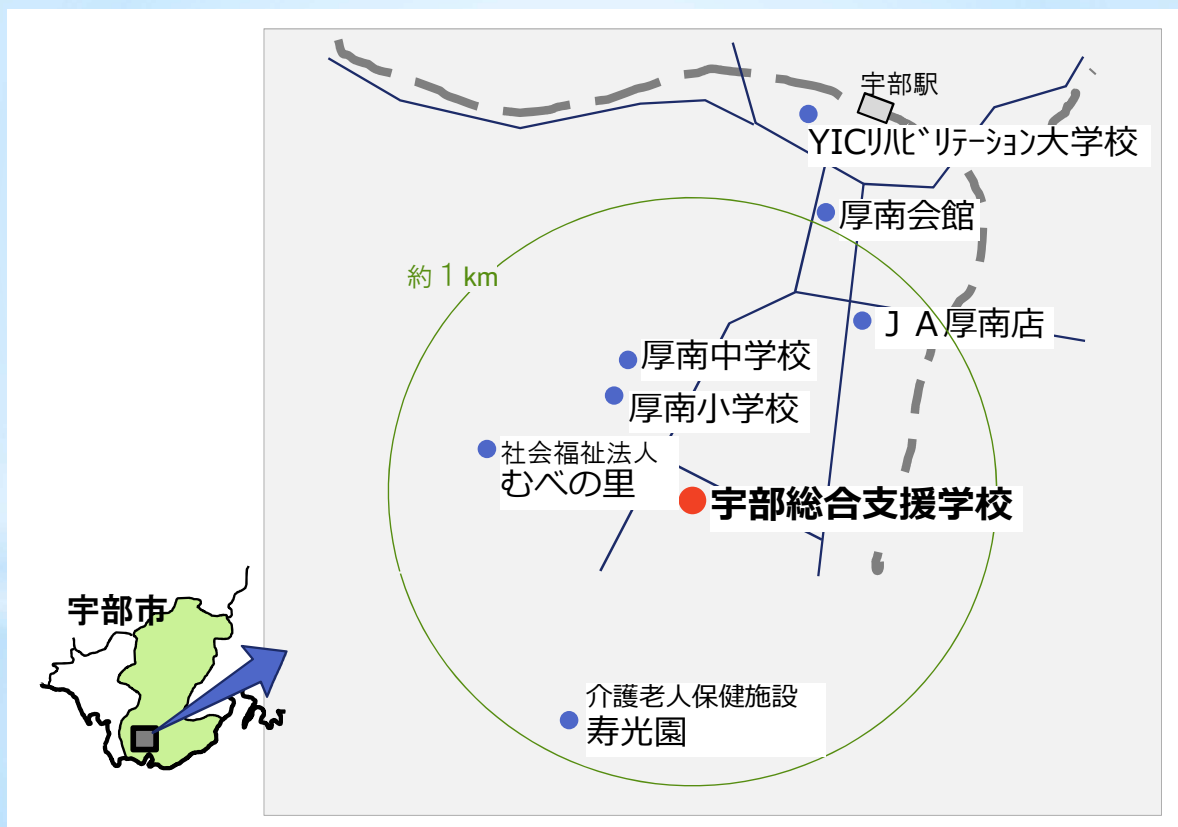
- ・ 「総合支援学校を訪問したことがない」ことの理由で「必要性がなかった。」の割合が高いことは課題である。
- ・ 地域資源を掘り起こすとともに、ソフト面だけでなくハード面での地域貢献を検討すべき。
- ・ 地域と関わっていくことこそが地域貢献につながる。学校行事でのボランティアの募集をしてみてもは。
- ・ 教員が専門性を生かした公開講座の開催が地域貢献、情報発信につながるのでは。

今後の取組

- ・ これまでの取組をコミュニティ・スクールの視点で整理
- ・ より地域に根差した取組

- * 地域の方と連携した避難訓練
- * 敬老会と連携したコミュニティづくり
- * 地域の企業や農家との双方向での連携 など

地域資源



最後に

総合支援学校へのコミュニティ・スクールの導入



地域における障害についての一層の理解促進



『共生社会の実現』